

<三津屋商店街：大阪市淀川区>

## 幸せ福らむ商店街！

～ワッショーイ！ ヤカーリング商店街！～

### 取組みの効果

- ◆ テレビ等取材の増加
- ◆ 他府県商店街との交流機会の増加
- ◆ 近隣地域との連携強化

### 取組みの内容

- ◆ まちの賑わいイベントの開催  
(どんたく、みつやの日〔3月28日〕)
- ◆ 福の日、はっぴータイムの設定(特価タイムセール)
- ◆ 年に2度の※<sup>1</sup>ヤカーリング世界大会の開催(みつやの日・「どんたく」で開催)
- ◆ みつや交流亭の支援

※1 ヤカーリング：2人一組で、重しを入れた8リットルサイズのヤカンをカーリングのストーンに見立て数メートル離れた場所からの的を狙いより中央に近い場所に止まると高得点となる競技。

### 取組みの背景

三津屋商店街は、住宅と中小工場が混在する大阪の下町・市街地にあり、阪急神崎川駅前から南方向に長さ550mのアーケードを持つ地域住民に最寄りの商店街である。

本商店街は、駅前にあり通勤・通学者の経路となっていることから平日は一定の通行量はあるものの、日曜・祝日の客足は極めて少ない状況にある。

#### 〈商店街データ〉

- 所在地 大阪市淀川区三津屋北一丁目8番2号
- 立地 阪急神戸線神崎川駅から徒歩1分
- 店舗数 64店
- 問合せ 三津屋商店街振興組合  
理事長 柿本良治  
TEL/FAX 06-6303-9211(事務局)  
<http://www.mitsuya.ne.jp/>

以前は近隣に薬品会社の工場が立地し、商店街内に市場があり、遠方からの来客も多く通りがあふれそうなほど賑わっていたが、工場や市場の撤退、消費の低迷に加え、これまでご<sup>ひいき</sup>贖<sup>ひいき</sup>いただいていたお客様も高齢となる等、来街者は減っていった。また、店主の高齢化や後継者不足で、空き店舗が目立つようになっており、特に駅から離れたエリアでは深刻な状況である。

近年、商圏内に食品スーパーが点在するようになり地域の最寄り商店街としての魅力・集客力も衰退している。

一方で、駅前大規模開発計画があり、将来的には、まちの構造に大きな変化が訪れることが予測され、新たな住民への販売促進が必須の課題となっている。



## 取組みのきっかけ

本商店街は、地域の最寄り商店街としての役割を担ってきたが、食品スーパーの定休日が日曜であることや日・祝日の来街者・通行者が低迷していることもあり、商店街でも日曜定休の個店が多く、駅に近い店舗では夜間営業の飲食店が多いことなどから、このままではさらに商店街の魅力が低下することが危惧されている。

本商店街は、三津屋地域の骨格でもあることから、本商店街をステージとして「ひと・もの・こと」をつなぎ「出会い・安心・賑わい」をつくりたい、そして、住民にとって、いつもの商店街としての親しみと賑わいを育てていきたいとの思いがあった。

## 活性化の要因

- ◆ 「みつや」と「福」へのこだわり
- ◆ 商店街のまつりから地域のまつりへ
- ◆ 福券による地産地消
- ◆ 新コミュニティづくりの推進支援
- ◆ オリジナルスポーツ、ヤカーリングを考案
- ◆ ユーモアと創意工夫



## 事業の仕組み

三津屋商店街の名前にちなんだ328（みつや）や福（29）にこだわった取組みを実施。毎年3月28日を（みつや）の日として設定し春休み中の子供向けイベントを中心に開催。また、はっぴータイムとして毎日3時28分から29（福）分間の特価タイムセールを実施、さらに毎月2

9日を福の日として定例の売出しを実施することで商店街での買い物の魅力向上を図っている。

毎年8月下旬には、商店街をステージに地域団体と連携し、「どんたく」を開催している。元々近隣の公園で実施していたが、商店街に親しんでいただきたいとのことから商店街で実施して30年近くになる。

「どんたく」は、地域住民の方が空き店舗を使って綿菓子など販売する参加型のイベントで、10店舗ほどの出店がある。本商店街イベントの中で最も多くの人が集まっている。

福券は、加盟店が買い物300円毎に1枚（10円）を進呈している。この福券はこれまで、各個店がそれぞれ個別でスタンプカードを発行若しくは、ポイントを付与し各個店での使用に限っていたが、福券に統一することで利用の幅に広がりを持たせるとともに、毎月29日（福の日）に日用品との交換やガラガラ抽選で福券が当たるようにすることで消費者の楽しみを増加させている。

商店街周辺地域も高齢化が進んでいることもあり、高齢者のコミュニティづくり



を推進・支援することも必要と考え、市民活動拠点となる「みつや交流亭」

みつや交流亭を利用している様子（上）



などの出店を商店街として支援している。

交流亭はNPO法人が運営しており、漫画や将棋が置いてあり子ども達が待ち合わせ場所にしている。奥には育児ルーム等もある。

また、「ヤカーリング」は、組合員が集まりよもやま話をしていた時に、トリノ冬季オリンピックで日本のカーリングチームが活躍したことをヒントに考案。色々な発想を試しながら、現在のルールにたどり着いた。やかんをストーンに見立てるというユーモアとインパクトのあるネーミングでマスコミにも取り上げられ、全国各地の商店街から「自分のところでもやりたい」とオファーがくるほどに。現在は公式ルールブックも作成し、三津屋発のヤカーリングが全国各地で地域の交流イベントとして親しまれている。



## 取組み上の工夫や苦労

「みつや」や「福」へこだわることにより三津屋商店街は、福をもたらす商店街との印象を与えることで、三津屋商店街へ来ると何かいいことがある。そんな風に思ってもらえるように工夫している。

毎年、恒例の「どんたく」イベントを実施し、やかん神輿に子供たちが参加することで、小さい頃から商店街に馴染んでもらうと

もに、地域のまつりとして定着し、商店街も地域に欠かせない存在になるよう取り組んでいる。

「みつやの日」や「どんたく」ではヤカーリング世界大会を実施、年2回の恒例イベントとすることで、ヤカーリングの認知度アップを図るとともに、地元住民の楽しみとしての定着につなげている。

また、「スピード出しすぎ注意」や「世界大会に行ってきました」などのユーモアを交えたステッカー（10種類）や缶バッジを作成しPRに努めている。

また、2011年には、震災応援物産展にあわせて、

「みつやてつどう博」を開催。各地で開催され人気のプラレール博を参考に、使われなくなったプラレールを集め展示する「みつやプラレランド」を開催したり、ミニSLを走らせるなど、大人から子どもからも大好評を得たとのこと。

将来的にはさらにプラレールを回収し、常設展示にしたいと夢も福（ふく）らんでいる。

てつどう博で走らせた「ミニSL」は、組合員のお兄さんが製作しており協力いただいたそうである。

また、どんたくで使用するやかん神輿の和紙の貼り付けは、商店街組合員のクロス張り職人さんが担当、



やかん神輿のやかん！

各イベントのチラシやステッカーは商店街の事務員さんが自らデザインするなど、身近な人たちの技術を活かし、経費を節約しながら、温かみのあるイベントを行っている。人とのつながり・地域とのつながりを大切にし、いつでも周囲と気軽に声かけできる関係性を持ち続けている組合役員さんの人柄と思いが、周囲の協力につながっている。



## めざす商店街像（今後の展望）

商店街の空き店舗を減らし、構成業種が増え以前のように賑わいのある商店街にすると共に、地域との協働・連携を図り、地域との絆を深めることにより、三津屋商店街で買い物をするとなにか得したような幸せな気持ちにさせる商店街としたい。

買い物客や地域、そして商店街の「ひと・もの・こと」をつなぎ、「出会い・安心・賑わい」づくり、商店街に関するすべての人の幸せを福(ふく)らませる商店街としたい。

## こぼれ話

商店街はスーパーと違って地域とのつながりがある。だから次世代を育てることも必要で、青年部を強化し現在 10 名の方がいる。

取材を受けていただいた総務部長は、今

の青年部はまじめで、夜間に商店街の道路清掃活動や商店街中の店舗シャッターの洗浄などにより、商店街のクリーンアップを図っているとのこと。

このような青年部活動の様子を見て総務部長も手伝っている。こうした若手の行動が、商店街の仲間全体の刺激となり、さらに行動へとつながることで、商店街から地域の活動へと広がるのではないかと感じさせる話であった。

## 取材を通して

カーリングをヒントに事業を考えていたときに、台車に人を乗せて押してみてもうかとやってみたところバランスを崩してこけてしまいボツとなったとのこと。また、やかん神輿を作ったときには、注ぎ口から湯気が出ているように見えるようにできないかと考え、ドライアイスで湯気が出ているよう見せたいと試したところ水漏れがしたこともあったという。

このように思いついたことを即実践する行動力とチャレンジ精神がヤカーリング世界大会という三津屋商店街を代表するイベントを生み出したのだと感じた。

今回、取材を受けていただいた総務部長は、この地域は地域活動がしっかりしていて、地域のつながりが強く、商店街も地域のコマの一つだと言われていた。また、地域が一体となった取組みを進めることで、同じ世界でない人と出会えたことは、商店街活動をしてきてよかったと感じているとのことであった。

三津屋商店街は、地域を愛し、商店街の活性化のみならず、三津屋地域全体に福をもたらすことをめざす商店街であった。